

平成30年度 上田市立長小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価					
かしこく きよく たくましく	「知」「徳」「体」の調和のとれた たくましい子ども ◎自分をふりかえり よく考える子(自分で学習計画を考えて学ぶ) 「かしこく」 ◎友だちとかかわり 思いやりのある子(自分から挨拶できる) 「きよく」 ◎進んで取り組む ねばり強い子(自分清掃に取り組む) 「たくましく」	重点目標から更に月目標を設定して取り組んできた。より具体的な目標を設定したことで児童も職員も同じ方向を向き、学習や活動へ取り組むことができた。また、地域の方との連携や通信等での情報発信、保護者との連携で成果を出すことができた。児童については、前半期自尊感情をもちづらい傾向の児童が見られたが、活動の工夫や個別の配慮をし改善された面があった。					
	今年度の重点目標 → 月目標の設定	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	進んで あいさつ (4, 7, 10, 1月) <相手に伝わる声> むごんで 清掃 (5, 8, 11, 2月) <自らの心に問う> 自分から 学習 (6, 9, 12, 3月) <やった! できた! 実感>	今年度より月目標を設定し、重点目標を職員・児童ともに意識して取り組んできた。児童会活動などとリンクさせたことで成果が出た目標もあった。		○			月目標を決まった順番ではなく児童会活動や学校行事など学校生活にリンクさせて設定し、児童も職員も自然に意識した取り組みができるようにしていく。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	意欲を持てる授業	自然・ひと・ものと関わり、問題解決をしていく授業づくり	授業改善：自己課題を明確にし、改善案を作成する	学期毎に授業評価アンケートを実施し、改善策を明確にして次学期に臨めた。	○				一人一公開の授業を年間を通して計画し、学び合う体制を整えていく。
			言語活動の充実：自分の考えを自分の言葉で伝える場面をつくる	1時間1時間の授業の中に発表場面を設定するように努めてきた。		○			発表の仕方を明確にし、児童の意欲を高めながら全員が発表できるようにしていく。
			課題把握場面の充実：児童が見通しをもって授業に取り組めるようにする	学習問題や課題を明確に提示し、見通しをもって取り組めるようにしてきた。		○			担任が授業のゴールを意識し、学習の流れを明確に示して見通しがもてるようにする。
	認め合う学級	自尊感情を育て、自分の存在が認められる学級づくり	一人一人の自信(自尊感情)につながる振り返りを継続する	2学期までに、学級で様々な取り組みを行い、自尊感情の高まりが見られる。		○			帰りの会での1日の振り返りなどを継続し、一人一人が充足感を味わえるようにする。
			友だちとの協働を生み出す活動を設定する～長っ子タイムの充実～	各学級がそれぞれ工夫した活動に取り組む、友との関わりがもてるようになってきた。		○			一人一人の課題を明確にして、更に活動のペアやグループの工夫をしていく。
			子どもと対話し、子どもの様子を的確につかむために教育相談を学期に1回行う	学期毎になかよしアンケートを実施するとともに、必要に応じて面談を行った。		○			配慮を要する児童については実態に応じて個別の指導計画を立て指導にあたる。
	開かれた学校	学年を越えた関わりや地域との関わりを広げる学校づくり	家庭・学校・地域へ広がる あいさつ活動を進める	月目標や児童会活動とリンクさせてあいさつ運動に取り組む意識を高めた。	○				年間を通して重点的に取り組む時期を明確にし意識が継続するようにする。
			学年を越えて関わりあう活動に取り組む	児童会主催により全校が関われる活動や姉妹学級での活動が実施できた。		○			縦割りの活動を学校生活の様々なところで設定できないか検討し取り組んでいく。
			長の自然・歴史(真田)・文化・伝統に学ぶ体験活動や交流活動を取り入れる	NPOや地域の方の協力をいただきながら、様々な活動に取り組んでいくことができた。	○				次年度も継続して取り組んでいくとともに、学年間でも情報交換をしていく。
学校運営		情報の発信	学校だより、学年だより、ホームページ、学校メール等で、学校の様子を知らせる	おたよりの定期的な発行で情報をたくさん発信することができた。	○				情報発信の内容について精査し、おたより等の充実を図っていく。
		家庭との連携	連絡帳、電話連絡、訪問などで家庭との連絡を密にする	必要に応じて迅速な連絡、連携ができ、信頼関係を築いてくれた。	○				迅速な連絡を心がけ、相談し合いながら教育を進める関係を大事にしていく。
			手引きを基に家庭学習の習慣化を図る	学級懇談で手引きについて説明を加えながら家庭の協力も得て取り組めた。		○			自主学習のやり方を児童・保護者双方に明確にして取り組んでいく。
危機管理	児童の安全・安心を確保する 非違行為の根絶	安全に関わる点については、職員間で連携を密にして対応できた。		○			情報や気づきを早めに職員間で共有し、対応していく。		

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった